

令和7年度 医科歯科連携・口腔機能管理コース

開催報告

前期 令和7年6月28日(土)～7月26日(土) オンデマンド配信
令和7年7月27日(日) ライブ配信

後期 東京歯科大学市川総合病院にて見学・実習 各班5名ずつ実施
①令和7年7月28日(月) ②8月4日(月) ③8月18日(月) ④年8月25日(月)

多職種から学ぶ基礎知識

前期オンデマンド配信では、医科歯科連携に必要な基礎知識を学ぶため、外科医師、脳血管外科医師、放射線科医師、歯科医師、緩和ケア認定看護師、薬剤師など様々な職種から、幅広い視野での講義を配信した。

オンラインでの症例検討会

オンデマンド配信の内容を踏まえて、7月27日のライブ配信ではZoomを使用し、乳がんの薬物療法症例について、周術期等口腔機能管理における専門的口腔衛生処置計画の立案をグループワークとして行い、症例を検討した。一度、グループで検討し、発表したのちに、そこで出た問題点や意見について再度検討・発表を行ったことで、より症例についての理解を深めた。オンラインではあったが、一日かけて活発なグループワークが行われ、受講者から他施設の介入方法や意見交換ができて有意義であったとの感想が多くみられた。

病院見学とシュミレーター実習

後期研修では、4班に分かれて、各4～5名のグループで1日間、東京歯科大学市川総合病院の見学実習を行った。歯科・口腔外科外来や口腔がんセンターにて、がん患者の口腔健康管理の実際を見学した。また、病院に併設されているスキルスラボにて、シュミレーターを用いた咽頭吸引実習、頸部および胸部の呼吸音聴診実習を行い、周術期等口腔機能管理を行う上で必要な知識・技術を習得した。研修終了後、認定研修セミナーで学んだことを勤務先で活かしていきたいとの声もあった。

